

**【教員氏名】**

大久保 正人

**【単位数】**

2 単位

**【演習概要】**

これまで、多くの市民にとって刑事司法制度（「捜査」や「裁判」など）は、警察や裁判官・検察官・弁護人といった法律の専門家だけが関与するものであり、日常生活とは関係のない「他人事」であると考えられていました。しかし、裁判員制度が導入された社会においては、一般市民であっても刑事司法制度に無関心であることは許されず、その「準備（心構え）」をしておくことが必要になっています。

本講義においては、裁判員時代の一般市民に必要とされる、刑事司法制度の「基礎」を学習します。

**【学習目標】**

本講義は、刑事司法制度を初めて学ぶ学生を対象として、制度の「全体像」を把握することを目標とします（基礎的な内容を学習します）。

毎回、詳細なレジュメを配布します。板書は一切しませんので、講義中は、「想像力」を膨らませて、楽しんでください。

**【講義計画】**

第1回：はじめに ～刑事司法制度とは何か～

第2回：刑事手続の流れ

第3回：裁判員制度（1）基礎知識編

第4回：裁判員制度（2）世界の裁判制度編

第5回：裁判員制度（3）実践編

第6回：アメリカの刑事手続（1）概要

第7回：アメリカの刑事手続（2）陪審制度

第8回：アメリカの刑事手続（3）司法取引

第9回：刑罰制度（1）懲役・禁錮・罰金、犯罪者の処遇

第10回：刑罰制度（2）死刑

第11回：少年と犯罪

第12回：精神障害者と犯罪

第13回：犯罪と捜査（1）犯罪編

第14回：犯罪と捜査（2）捜査編

第15回：おわりに ～総復習～

**【成績評価の方法】**

試験評価：100% レポート：0% 出席：0%

「試験」の得点のみで評価します（厳格に採点します）。

「出席」はとりませんが、講義に出席しない学生は、単位を修得できない可能性が高いと思います。

★ 単位の修得が「極めて難しい」講義ですので、受講に際しては、くれぐれも注意してください。

★ 「私語」「携帯電話の使用」等、講義を妨害する行為については、厳しく対処します（単位の修得に影響します）。

**【参考文献】**

テキストは使用しません（レジュメを配布）。

参考文献は、必要に応じて紹介します。

**【準備学習の指示】**

予習：新聞・テレビ・ネット等を通して、刑事司法制度に興味を抱いてください。

復習：配布したレジュメを読み返して、想像力（妄想）を膨らませてください。